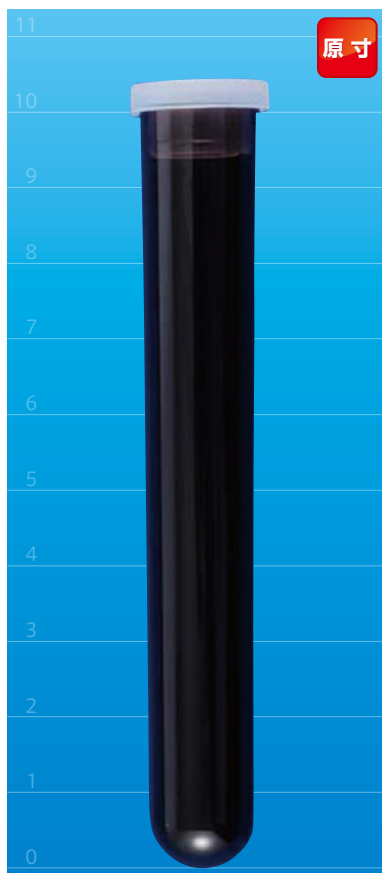


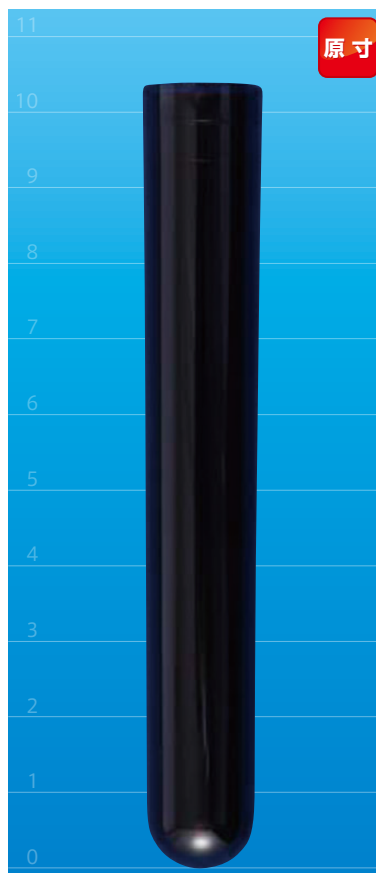
YS-2 褐色スピッツ キャップ付



原寸

| | |
|-------|-------------|
| 商品コード | 11407 |
| サイズ | 16φ × 104mm |
| 容量 | 10mL |
| 材質 | PS |
| 包装形態 | 50本包装 |
| 入数 | 1,000本 |

YS-4 褐色スピッツ キャップ無



原寸

| | |
|-------|-------------|
| 商品コード | 11503 |
| サイズ | 16φ × 104mm |
| 容量 | 10mL |
| 材質 | PS |
| 包装形態 | 50本包装 |
| 入数 | 1,000本 |

試験管

採尿セット

スポイト

容器・コップ

採便管

採水瓶

Swab・塗布用具

器具・その他

Q & A 1

special topics

滅菌・殺菌とは？

滅菌とは、物質中のすべての微生物を殺滅または除去することで、殺菌とは、微生物を1つでも死滅させることです。よって滅菌は、生きている微生物を限りなくゼロに（確率に基づき定義）することです。

特に医療機器、薬事法で滅菌は、「製品を生育可能な微生物が存在しない状態にするために用いるバリデートされたプロセス」と定義しています。また、無菌性保証水準 (SAL) と呼ばれる滅菌後に生育可能な1個の微生物が製品上に存在する確率も定めています。SAL 10^{-6} とは、滅菌処理後、100万個の製品のうち、ひとつの製品上に生きている微生物が1個だけ残っている確率のことです。

ひと言でまとめると、滅菌とは、製品において微生物を理論上ゼロ（無菌）にすることはできないので、確率で定義（例えば、1/1,000,000）しましょうということです。なお、一般に「無菌」を証明するためには、製品毎に無菌試験（培地にドブ漬け）を行わなければならない、製品としては使用できなくなります。

1/1,000,000（100万分の1）とは、滅菌後の100万個の製品で無菌試験を行った場合、陽性が出る（生きている微生物が残っている）確率（可能性）が製品1個あるということです。